

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第5区分
 【発行日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【公表番号】特表2008-519179(P2008-519179A)
 【公表日】平成20年6月5日(2008.6.5)
 【年通号数】公開・登録公報2008-022
 【出願番号】特願2007-540302(P2007-540302)
 【国際特許分類】

D 0 1 F 6/70 (2006.01)
D 0 3 D 15/08 (2006.01)
C 0 8 G 18/65 (2006.01)
D 0 6 P 3/24 (2006.01)

【F I】

D 0 1 F 6/70 Z
D 0 3 D 15/08
C 0 8 G 18/65 Z
D 0 6 P 3/24 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月8日(2008.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも5ミリ当量/Kgの紡績されたままの第一級アミン含有率を有するスパンデックスであって、染色されたままの前記スパンデックスが、約3ミリ当量/Kg未満の紡績されたままの第一級アミン含有率を有するスパンデックスの色合い明度Lと比較されるときに、分光比色法によって測定される際、CIE L A Bカラースケールで少なくとも約3.0の、絶対値として取られた、改善された色合い明度 Lを有することを特徴とするスパンデックス。

【請求項2】

少なくとも約3ミリ当量/Kgのボイルオフ第一級アミン含有率を有するスパンデックスであって、染色されたままの前記スパンデックスが、約3ミリ当量/Kg未満の紡績されたままの第一級アミン含有率を有するスパンデックスの色合い明度Lと比較されるときに、分光比色法によって測定される際、CIE L A Bカラースケールで少なくとも約3.0の、絶対値として取られた、改善された色合い明度 Lを有することを特徴とするスパンデックス。

【請求項3】

請求項1または2に記載のスパンデックスと、タンパク質、セルロース系、および合成ポリマー繊維、またはかかる要素の組み合わせよりなる群から選択された少なくとも1つの繊維とを含むことを特徴とする布。

【請求項4】

請求項3に記載の布を含むことを特徴とする衣類。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0197

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0197】

仕上げ布は16.3重量%スパンデックス含有率および50%伸長で0.30kg布回復力を有した。紡績したままの負荷力は5.83gであり、紡績したままのアンロード力は1.08gであり、初期繊維IVは1.04dl/gであり、熱処理した繊維IVは3.06dl/gであった。このデータは、許容される布回復力が、布染色および仕上げ工程のように、熱処理後のより高い繊維IVによって、一つには、維持され得ることを示す。

本発明は以下の実施の態様を含むものである。

1. 少なくとも5ミリ当量/Kgの紡績されたままの第一級アミン含有率を有するスパンデックスであって、染色されたままの前記スパンデックスが、約3ミリ当量/Kg未満の紡績されたままの第一級アミン含有率を有するスパンデックスの色合い明度Lと比較されるときに、分光比色法によって測定される際、CIELABカラスケールで少なくとも約3.0の、絶対値として取られた、改善された色合い明度 Lを有することを特徴とするスパンデックス。

2. 前記紡績されたままのスパンデックスが少なくとも約10ミリ当量/Kgの第一級アミン含有率を有することを特徴とする前記1.に記載のスパンデックス。

3. 少なくとも約3ミリ当量/Kgのボイルオフ第一級アミン含有率を有するスパンデックスであって、染色されたままの前記スパンデックスが、約3ミリ当量/Kg未満の紡績されたままの第一級アミン含有率を有するスパンデックスの色合い明度Lと比較されるときに、分光比色法によって測定される際、CIELABカラスケールで少なくとも約3.0の、絶対値として取られた、改善された色合い明度 Lを有することを特徴とするスパンデックス。

4. 酸性染料、直接染料、およびプレ金属化染料、またはかかる要素の組み合わせよりなる群から選択された染料で染色されることを特徴とする前記1.または3.に記載のスパンデックス。

5. モノクロロトリアジンおよびフルオロクロロトリアジン・コットン反応性染料を除く少なくとも1つの反応性染料で染色されることを特徴とする前記1.または3.に記載のスパンデックス。

6. 1回洗濯後、約3ミリ当量/Kg未満の紡績されたままの第一級アミン含有率を有するスパンデックスと比較されるときに、分光比色法によって測定される際、CIELABカラスケールで3.0以上の、絶対値として取られた、改善された色合い明度 Lを有することを特徴とする前記1.または3.に記載のスパンデックス。

7. 破壊までに少なくとも10時間の耐塩素誘発分解性を有することを特徴とする前記1.または3.に記載のスパンデックス。

8. 約4.0~約7.5gの負荷力を有することを特徴とする前記1.または3.に記載のスパンデックス。

9. 約4.5~約6.2gの負荷力を有することを特徴とする前記1.または3.に記載のスパンデックス。

10. 約1.0~約1.2gのアンロード力を有することを特徴とする前記1.または3.に記載のスパンデックス。

11. 1.5倍延伸で190 で少なくとも86%のヒートセット効率を有することを特徴とする前記1.または3.に記載のスパンデックス。

12. 前記1.または3.に記載のスパンデックスと、タンパク質、セルロース系、および合成ポリマー繊維、またはかかる要素の組み合わせよりなる群から選択された少なくとも1つの繊維とを含むことを特徴とする布。

13. 酸性染料、直接染料、およびプレ金属化染料、またはかかる要素の組み合わせよりなる群から選択された染料で染色されることを特徴とする前記12.に記載の布。

14. モノクロロトリアジンおよびフルオロクロロトリアジン・コットン反応性染料を除

く少なくとも1つの反応性染料で染色されることを特徴とする前記12.に記載の布。

15.前記スパンデックス含有率が約0.5~約40重量%・スパンデックスであることを特徴とする前記12.に記載の布。

16.たて糸方向における50%伸長での布回復力が約0.2~約0.5Kgであることを特徴とする前記12.に記載の布。

17.前記12.に記載の布を含むことを特徴とする衣類。

18.前記13.に記載の布を含むことを特徴とする衣類。

19.前記14.に記載の布を含むことを特徴とする衣類。

20.一定の紡績されたままの第一級アミン含有率において色合い明度Lの観察される改善を提供するには不十分な染色促進剤の濃度であることをさらに特徴とする前記1.または3.に記載のスパンデックス。

21.5重量%未満の染色促進剤の濃度であることをさらに特徴とする前記1.または3.に記載のスパンデックス。

22.1重量%未満の染色促進剤の濃度であることをさらに特徴とする前記1.または3.に記載のスパンデックス。

23.0.7重量%未満の染色促進剤の濃度であることをさらに特徴とする前記1.または3.に記載のスパンデックス。

24.本明細書に定義されるような染色促進剤を実質的に含まないことをさらに特徴とする前記1.または3.に記載のスパンデックス。